

単元名 わたしたちの生活と食料生産

長いも・長ねぎ —青森県—



地場産物の説明

(長いも) 青森県の長いもは全国一の出荷量を誇り、国内流通量の約4割を占めている。品種は、首が短く肉付きの良い「ガンクミジカ」と呼ばれる系統が普及しており、色白で粘りが強くアクがないのが特徴である。

十和田市の出荷量は青森県の中で、4位の出荷量である。

(長ねぎ) 青森県の長ねぎは全国7位の出荷量で、白い部分の長い根深ねぎ（白ねぎ）が主体である。十和田市の出荷量は青森県一で、長いもの輪作作物として作付けされ、出荷量は順調に増加している。

近年では、トマトの輪作作物としてハウス内での栽培もすすんでいる。

(あおもりの野菜っこより)

献立例

ごはん、牛乳、いか姿焼き、こかぶの酢のもの、長いも入りすいとん汁

1人当たりの栄養量 (小学校)

エネルギー	647kcal
たんぱく質	25.6g
脂質	15.2g
カルシウム	315mg
鉄	2.1mg
ビタミンA	220 μ gRE
ビタミンB ₁	0.56mg
ビタミンB ₂	0.63mg
ビタミンC	15mg
食物繊維	4.1g
食塩	2.6g
マグネシウム	56mg
亜鉛	1.8mg



給食の時間の指導 (食品を選択する能力・感謝の心・食文化)

今日の給食のすいとん汁は、十和田市の郷土料理です。すいとんは、小麦粉にすりおろした長いもと水を加えてこね、小さくちぎった、長いも入りのすいとんです。青森県の長いもは全国一の出荷量を誇り、国内流通量の約4割を占めています。すいとん汁の中に入っているごぼうは全国一の出荷量、にんじんは4位、長ねぎは7位、また、こかぶの酢のものに入っているかぶは3位、食用ぎくは4位と青森県は、野菜を多く出荷しています。今日の給食は、青森県の食材を数多く取り入れた献立となっています。みなさんの近くでとれた野菜です。生産者の方々の苦労や、自然の恵みに感謝していただきましょう。

小学校 第5学年 社会科学習指導（略）案

日 時 平成21年 月 日 第 校時
 対 象 5年 組 名
 指導者 担任 (T1)・栄養教諭等 (T2)

1 単元名 わたしたちの生活と食料生産

2 単元の目標

我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。

3 本時（25/26時）

(1) 本時の目標

輸入肯定派と国内自給率向上派によるディベートを行い、輸入の必要性や国内自給率を高めることの大切さをふまえた、自分なりの考えをもつことができるようにする。

〈食育の視点〉

- 十和田の産物、食文化や食に関する歴史を理解し、尊重する心をもつ。（食文化）
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性について自ら判断できる能力を身に付ける。（食品を選択する能力）

(2) 展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考
導入	10分	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の食料生産はどうあるべきか話し合う</p> <p>1 これからの日本の食料生産はどうあるべきか話し合う。 <輸入肯定派>意見発表 班ごと準備した資料を基に発表する。国内自給率向上派から発表内容について質問を受け答える。 <国内自給率向上派>意見発表 班ごとに準備した資料を基に発表する。輸入肯定派から発表内容について質問を受け答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級担任は、本時の前に、各班の発表内容について把握しておく。（T1） ○ 討論できるように机を配置する。（T1） ○ それぞれの考えを簡潔に板書する。（T1） 	
展開	30分	<p>2 輸入肯定派と国内自給率向上派に分かれて討論する。 ・ 交互に反対意見を発表し、討論する。</p> <p>3 スーパー店員の話聞く。 ・ スーパーとしては、輸入・国産とも品揃えしている。 ・ 消費者に選択をしていただけるようにしている。</p> <p>4 栄養教諭の話聞く。 ・ 外国とうまくつきあっていきながら、日本の自給率を上げていくことが大切であることに気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いが深まるよう、支援しながら司会を行う。（T1） ○ 実際の売り場の映像を流しながら輸入・国産での価格の違い、スーパーとして、気を付けている点について話を聞かせる。（T1） ○ 輸入肯定派も国内自給率向上派も食品を無駄にすることなく、大切にしよう話をする。（T2） ○ 今日の献立を基に、学校給食で使用している食品について説明する。（T2） ○ フードマイレージについて説明する。（T2） 	ビデオ パソコン
まとめ	5分	<p>5 自分の考えをまとめ発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費者として考え、選んでいくことが大切であることに気付かせる。 	

(3) 評価

食文化を理解し、食品を選択する能力と感謝の心が養われたか、国際理解・環境問題について理解が深まったか。